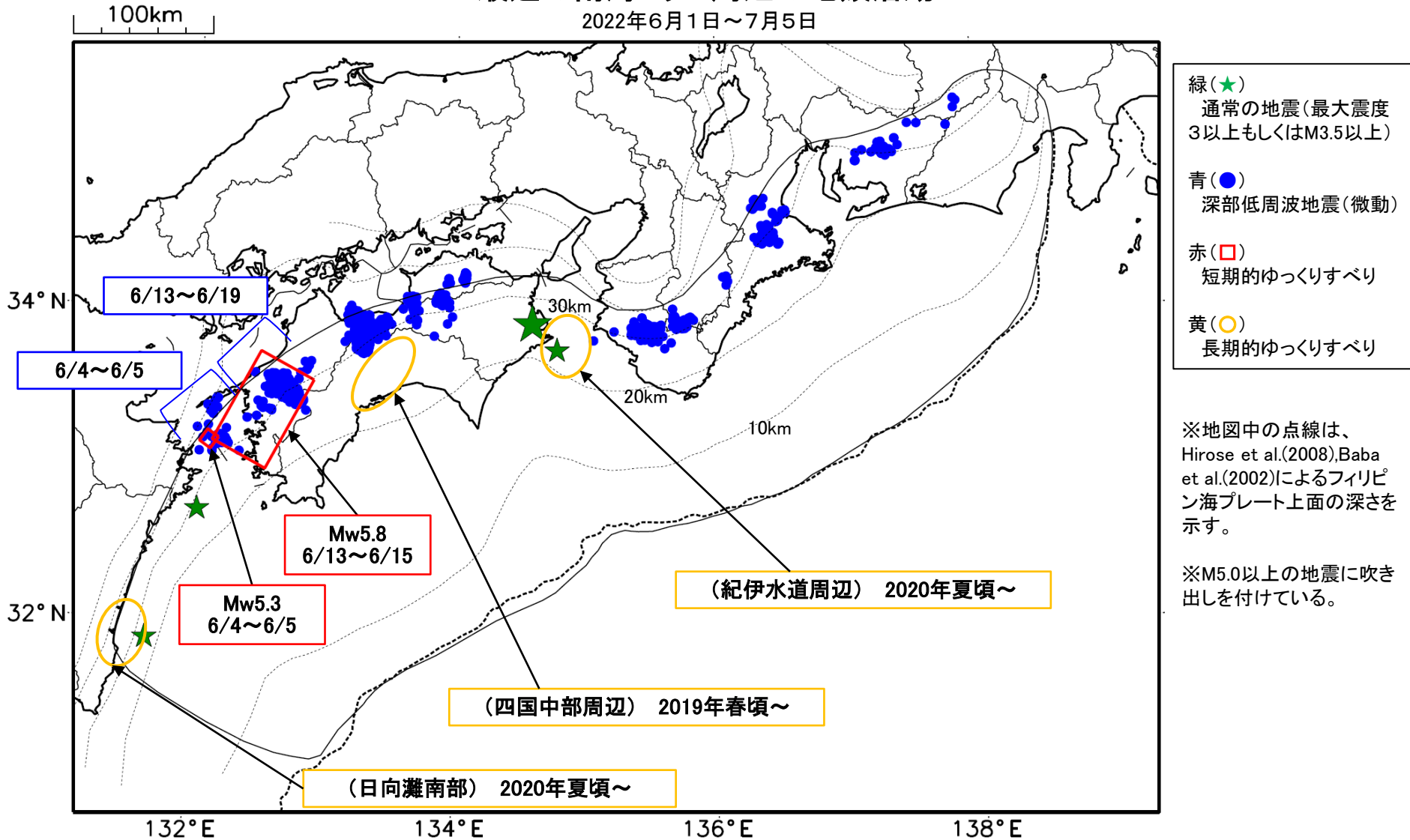


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2022年6月1日～7月5日



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和4年6月1日～令和4年7月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
6/5	15:28	日向灘	39	3.5	1	フィリピン海プレート内部
6/9	07:25	紀伊水道	39	3.9	2	フィリピン海プレート内部
6/17	00:51	徳島県南部	45	4.9	4	フィリピン海プレート内部
6/30	19:34	日向灘	38	3.6	2	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>5月31日～6月3日</p> <p>6月5日</p> <p>6月15日～16日</p> <p>6月19日～22日</p> <p>6月26日～28日</p> <p>7月1日</p> <p>7月3日～（継続中）</p> <p>■四国中部</p> <p>6月14日～28日</p> <p>7月1日～2日</p> <p>■四国西部</p> <p>5月30日～6月2日</p> <p>6月4日～5日 . . . (1)</p> <p>6月7日</p> <p>6月10日～11日</p> <p>6月14日～19日^{注1)} . . . (2)</p> <p>6月22日～26日</p> <p>6月30日</p> <p>7月3日～（継続中）</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>6月3日</p> <p>6月11日～12日</p> <p>6月15日</p> <p>6月29日～30日</p> <p>7月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>6月7日～8日</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>5月28日～6月1日</p> <p>6月5日</p> <p>6月7日～8日</p> <p>6月11日～12日</p> <p>6月14日～15日</p> <p>6月18日</p> <p>6月22日～23日</p> <p>6月29日～30日</p>	<p>6月5日～6日</p> <p>6月27日～28日</p> <p>7月3日～4日</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を**赤字**で示す。

※上の表中（1）、（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、6月13日から17日頃にかけて、やや活発な微動活動が見られた。